

韓国の著名漫画家ホ・ヨンマン画伯 広島県取材 ～瀬戸内海 癒しの旅～

ソウル事務所

クリアソウル事務所では、韓国の著名漫画家ホ・ヨンマン画伯を日本に招致し、日本各地の食や自然、伝統文化など、各地域の魅力を韓国に向けて発信する事業を行っています。

今回は、2013 年 9 月 29 日（日）～10 月 4 日（金）の日程で実施した広島県取材の様子を紹介します。

1 旅のテーマは「癒しの旅」

本事業は、韓国の著名漫画家ホ・ヨンマン画伯を中心に 4 名程度の取材団を編成することにより、複数のメディアを活用した魅力あふれる PR を行っています。

今回の取材にあたっては、取材陣から、「ヒーリング旅行」というテーマの下、「温泉」「旅館」を中心とした瀬戸内海沿いの取材はどうかとの提案があり、検討の結果、広島県が誇る 2 つの世界文化遺産（宮島・厳島神社、原爆ドーム）や、日本食（海産物、お好み焼き等）などを取材先に組み込みながら、その意向に沿う形での取材が行われました。

（打ち合わせ時、取材団から出された主な意見）

- 最終的な記事作成を考えた場合、行程の作成において、テーマの設定が重要
- 自治体としては、様々な観光資源を PR したいと思うが、テーマに沿って、できるだけ取材先を絞ってほしい。
- ファミツアーのように、多くの場所を慌ただしく見ても、記事として紹介できる場所は限られる。であれば、一か所ごとにある程度の時間を確保してほしい。
- ライターという人種は、感銘を受けたことを、その心のままに文章化する。ゆったりとした時間設定は、その土地の雰囲気等を、取材団の心に染み入らせるためにも重要だと思う。

以下では、様々な取材先の中で、特に印象的であった取材先・出来事をピックアップして紹介させていただきます。

2 昔ながらの港町風景。そして、絶景のオーシャンビュー！潮の香りに包まれながら、心のままに散策した「鞆の浦」

広島県福山市に位置する港町「鞆の浦」。この土地は、昔ながらの港や古民家が残る町並みを散策することができ、韓国でも人気のジブリアニメ「崖の上のポニョ」の宮崎駿監督が、構想を練った地としても知られています。

また、江戸時代の元禄年間（1690 年頃）に、福禅寺というお寺の客殿として、この港

町に建てられた「対潮楼」は、江戸時代には朝鮮通信使の一行が宿泊する迎賓館として使われ、朝鮮通信使からは「日本で一番美しい景色」と賞賛されています。

(参考：朝鮮通信使について) クリアメールマガジン (2013 朝鮮通信使祭り)

http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201306_1/5-1.pdf

更に、最近では、2012年にハリウッド映画「ウルヴァリン：SAMURAI」のロケが行われており、その映画の主人公であるウルヴァリンは、2013年8月に福山市の観光大使となっています。

そのような日本人・外国人問わず、多くの人々を惹き付ける鞆の浦における取材対応方針は、「一日中この地で過ごすこと」、そして、「細かなことは決めず、取材陣の自由度を高くすること」。

韓国にはない日本ならではの古民家、港から海を挟んで見える美しい島々。散策しながら、自由にそれらを撮影する中で、一日という時間は、瞬く間に過ぎていきました。

(港町ならではの美しいオーシャンビューの数々)



対潮楼から



喫茶店から



ホテルから

夜は、海岸沿いに位置するホテルに宿泊し、その夕食等を通じて、取材初日から、日本食・日本酒の素晴らしさを、取材陣にPRすることが出来ました。

☆取材同行者が感じたこと (@鞆の浦)

「日本料理は、その食材の豊富さ、様々な調理法、味付けの繊細さ等において、世界に誇るべき偉大な文化である」

- | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------------------|------------------|--------------------------------|-----------------------|--------------------|--------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------|--------|
| 水菜子 | 御食事 | 酢の物 | 洋皿 | 替り鉢 | 炊き合せ | 焜炉 | 御造り | 前菜 | 食前酒 | 御献立 |
| マンゴーパッションケーキ | 自家製明太子の
焼きおにぎり茶漬け 香の物 | 鯉の香り漬け
菊花のジュレ | ビーフシチュー
アンデスポテト
セミドライブラム | 叩き海老の包み揚げ
バター醤油焼きで | 地穴子 蕪 蓮根 菊菜
針柚子 | 鯛 烏賊 海老
雲丹風味
「秋色海鮮フォンデュ」 | 吹き寄せ盛り
鯛松皮造り 太刀魚
車海老 締鯖龍皮巻き 蛸 | 銀杏と厚焼き玉子松葉
焼き鯉木の芽寿し
公孫樹丸十 豊鯛 | 無花果きな粉酢 蓮根 黒豆
秋茄子と鱈葉和え | 本日の食前酒 |

鞆の浦 ホテル鷗風亭 お品書き (9/30 宿泊時)

3 「坂のまち」、「文学のまち」、「映画・ドラマのまち」、多くの作家に愛されたまち、尾道市

尾道市は、その美しく、情緒あふれるまち並みから、数多くの文学、映画、ドラマの舞台となっており、韓国SBS放送で2011年に放映されたドラマ「サイン」のロケ地にもなっています。

古くから港町として栄えてきた尾道市の眺望は、坂道や民家等と相まって、「鞆の浦」とは、また異なる絶景を有していました。カメラマンが熱心に撮影する姿や、木画伯を始めとする取材団の満足げな表情を見て、広島県取材が成功に終わるであろうことを、取材2日目にして、ほぼ確信する1日となりました。



尾道の街並みを眺める木画伯（千光寺公園） 木画伯としまなみ海道を撮影するカメラマン

☆取材同行者が感じたこと（@尾道市）

「自治体による観光PRは、優秀な担当者たちの日々のたゆまぬ努力で支えられている」
尾道市取材の最中、一つの事件が発生した。

それは、取材団にとって命とも言える「カメラの故障」。

今後の取材はどうになってしまうのか・・・と、不安を感じる中、尾道市S職員と、広島県K職員が、これまでの観光業務で得た「情報」と「人脈」を基に、冷静かつ迅速に対応。

最後は、取材団が使用していたカメラと同種のカメラを、S職員の知人から借り受けるというウルトラCで、解決に至った。S職員の「日頃の人徳」がなければ、実現しなかったであろう解決策であった。

取材団が、日本の公務員の優秀さ、真面目さを再認識するとともに、心より感謝したことは言うまでもない。

4 誰もが知る世界文化遺産。人々を魅了し、癒す「神の島」宮島。

「世界文化遺産」「日本三景」として誰もが知る宮島・厳島神社。

そこを訪れた10/3(木)は、平日であるにもかかわらず、観光客で賑わっていました。

自然の美と、厳島神社を始めとする建築美の絶妙な調和、そして、人懐っこく近づいてくる鹿たちに、取材団の顔は、どんどんと柔和なものになっていきました。

夜も、静けさが漂う中、ライトアップされた鳥居が非常に神秘的で、取材団はそれぞれに島内を散策しつつ、熱心に撮影を行っていました。



取材団たちの荷物を、次々と悪戯する鹿と、それをスケッチする木画伯



昼と夜で異なる顔を見せる大鳥居

☆取材同行者が感じたこと (@宮島)

「韓国人観光客誘致における日本の強みは、日本食、日本酒、旅館、温泉、そして、おもてなしの心である」



この日の宿泊先であった「岩惣」で、おかみさんを始めとするスタッフのきめ細やかな「おもてなし」の姿勢に感動した木画伯は、自ら筆を取り、おかみさんに似顔絵をプレゼントした。

5 もう一つの世界文化遺産。陽気な取材団が、静かに平和を祈った「平和記念公園」。

平和記念公園内にある原爆ドームは、核兵器の悲惨さを伝える建築物として、世界文化遺産に登録されています。

今回の広島県取材においては、木画伯から、「広島県に行くのであれば、平和記念公園に行き、犠牲者に黙とうを捧げたい」との強い意向がありました。

当日、木画伯を始めとする取材団は、慰霊碑の前で黙とうを行った後、広島平和記念資料館を訪れました。日頃は「陽気」という言葉がぴったりの取材団の面々も、この日はやはり、厳粛な面持ちで、展示されている資料を見つめていました。

特に、木画伯は、一つ一つの展示資料を真剣な面持ちで見つめ、被爆者の写真が多数掲載された本を購入されました。

全ての展示資料を見終えた木画伯は、最後に、資料館出口に掲載されていた「焼け野原となった地で新たに息吹いた芽」のパネルを、しばらくの間、何かを噛みしめるかのように、ただ静かに見つめられていました。



韓国人原爆犠牲者慰霊碑



原爆被害の展示資料を見つめる木画伯



「新たに息吹いた芽」のパネル前で



原爆ドームをスケッチする木画伯

6 最後に

この仕事を担当し、旅行雑誌のライターの方等と知り合う機会が増えてから、韓国では、ライターの方々の「横のつながり」が、非常に強いことがわかってきました(いい評価も、悪い評価も、口コミ等で伝わっていきます)。

今回、取材に同行したライターたちに、取材後、話を聞いたところ、異口同音に「広島県は、非常に魅力的な旅行先であることがわかった」「素晴らしかった！」等の評価を得ていました。

今回の広島県取材は、今後、複数の媒体で紹介されることが予定されていますが、それだけではなく、「今回のことを一つのきっかけとして、将来何か別な形で芽吹いていくこともありはすまいか」、そのように一担当者として期待し、また、祈念しているところです。

(見野所長補佐 札幌市派遣)

